

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成28年4月7日(2016.4.7)

【公開番号】特開2015-26786(P2015-26786A)

【公開日】平成27年2月5日(2015.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-008

【出願番号】特願2013-156903(P2013-156903)

【国際特許分類】

H 01 L 27/14 (2006.01)

H 04 N 5/369 (2011.01)

H 04 N 9/07 (2006.01)

【F I】

H 01 L 27/14 D

H 04 N 5/335 6 9 0

H 04 N 9/07 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画素領域の最上層に、配線密度を調整するダミー配線を有する裏面照射型イメージセンサにおいて、

所定の波長よりも短波長の光を受光する画素領域にダミー配線を配設する裏面照射型イメージセンサ。

【請求項2】

前記所定の波長より短波長の色の光を受光する画素領域にダミー配線を配設する請求項1に記載の裏面照射型イメージセンサ。

【請求項3】

青色の光を受光する画素領域にダミー配線を配設する請求項2に記載の裏面照射型イメージセンサ。

【請求項4】

緑色の光を受光する画素領域にダミー配線を配設する請求項3に記載の裏面照射型イメージセンサ。

【請求項5】

前記裏面照射型イメージセンサは、青色、緑色、および赤色の光を受光する画素領域を備える

請求項3または4のいずれかに記載の裏面照射型イメージセンサ。

【請求項6】

前記裏面照射型イメージセンサは、さらに白色、および赤外光の少なくともいずれかの色の光を受光する画素領域を備える

請求項5に記載の裏面照射型イメージセンサ。

【請求項7】

前記所定の波長は、400乃至600nmのいずれかの波長である

請求項1に記載の裏面照射型イメージセンサ。

【請求項 8】

前記400乃至600nmのいずれかの波長をピークとする色と、その色よりも短波長の色の光を受光する画素領域にダミー配線を配設する

請求項 7 に記載の裏面照射型イメージセンサ。

【請求項 9】

前記所定の波長は、530乃至550nmのいずれかの波長である

請求項 7 に記載の裏面照射型イメージセンサ。

【請求項 10】

前記530乃至550nmのいずれかの波長をピークとする色と、その色よりも短波長の色の光を受光する画素領域にダミー配線を配設する

請求項 9 に記載の裏面照射型イメージセンサ。

【請求項 11】

630乃至650nm波長のいずれかの波長をピークとする色よりも短波長の色の光を受光する画素領域にダミー配線を配設する

請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載の裏面照射型イメージセンサ。

【請求項 12】

前記ダミー配線は、画素幅、または前記画素幅よりも狭い幅で構成される

請求項 1 乃至 11 のいずれかに記載の裏面照射型イメージセンサ。

【請求項 13】

画素領域の最上層に、配線密度を調整するダミー配線を有する裏面照射型イメージセンサを有する撮像装置において、

所定の波長よりも短波長の光を受光する画素領域にダミー配線を配設する

撮像装置。

【請求項 14】

画素領域の最上層に、配線密度を調整するダミー配線を有する裏面照射型イメージセンサを有する電子機器において、

所定の波長よりも短波長の光を受光する画素領域にダミー配線を配設する

電子機器。